町立図書館おすすめＢＯＯＫ

新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から
おすすめのものをピックアップ。
バラエティーに富んだ
新刊を紹介します。

町立指江図書館 / 電話 0996(88)6500

乙女の教室

美輪　明宏　著

美しい心のあり方を、美輪さんならではの厳しくも温かい言葉で説くエッセイ集です。

町立鷹巣図書館 / 電話 0996(86)1111

誘拐

五十嵐　貴久　著

韓国大統領の来日を控えたある日、総理大臣の孫娘が誘拐される・・・。
最初から犯人がはっきり描かれているタイプの小説ですが、退屈することなく最後まで読める作品です。

長島文芸

明神俳句会

五種類の種を選じて万倍日　大堂　早苗
立山の奥へ奥へと紅葉燃ゆ　山嵜加代子
秋蒔の藁剥いでみる二度三度　二階堂妙子
温め酒明日はあした今日はきょう　筑前　初市
秋蒔きの小袋求め二人なり　迫口　君代
島に落つ陽の朱々と暮の秋　関　佳代美

長島短歌会

朝方の雨に濡れたる稲束は母を恋たる匂ひと想ふ　米尾　和子
植へしより三年目にしてグアバの実が熟れて我が庭小さき幸せ　中山タマエ
佇みて夕映えに見る師の歌碑に面影遠く潮騒高し　浜田美代子
片言で新幹線を言ふ曾孫其の愛しさに救はれて生く　浜畑　松枝
立ちませる稲田の中の田の神に「おつかれさま」と赤飯炊きぬ　林　ヒロ
海凪ぎて不知火海に僚船は浮きたつごとし秋日を受けて　本田　幸子
秋深く苦瓜糸瓜萩になり葉隠れ瓜のいくつも下がる　町田キクエ
友の庭ゼラニュームの花こぼれ咲き心豊かな暮らしの見へて　松元　睦子
汗ばみし我が身に優し秋風は太き赤秀の枝渡り来る　吉田　映子
精一杯島の道辺に咲く野菊通る車に煽られ揺るる　岩下　ち江
仄赤み艶めく茅の穂出揃ひて秋を粧ふ沿道続く　岩下　房代
連なりて萩咲く野路を行き行きてあふれる愁い束の間よぎる　樫平　頼子

創生短歌会

海風は甑島より吹き上り春木ケ丘の風車廻せり　竹之内重信
高処より見ゆる一本の村の道その中程に老松が佇つ　宮元　司
木槌にて石に置きたる藁を打つ音が昔の父を連れ来る　大塚　洋子
父母の墓洗いつつ胸あつし我が老いすでに七十となり　野村　益信
忘れ物して叱からるる事多しいつより妻は強くなりしか　村上　義彦
母さんと仲良くしてねと添えてある嫁ぎゆきたる子よりの手紙　石原百合子

一般作品

俳句

椋去りて栴檀の実の静まれり　川添　行秋
柵の終の栖や衣被　笹元　政美

短歌

一つ部屋子牛一緒に餌やるとあちらこちらと走り廻るや　町田　末則
吾が宿の右も左も空き家なる時雨れる丘は静かに暮れて　鶯出　成人
広き部屋小さな玩具数の増え楽しき日々の賑やかになり　中仮屋辰子